

御礼

今年もいよいよ暮れ、寒さも一段と厳しくなってきましたが、皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今日2日に、弊社代表取締役会長であり、私の父である 服部純茲 が他界いたしました。大正14年生まれ、享年87歳。11月25日に満86歳の誕生日を迎えた1週間後のことでした。

父の葬儀を出すにあたって、合同葬とする事のため、いろいろあったのですが、社員からも「会社として葬儀を出して下さい。」という声もあり、会社と人生を共にしてきた父の葬儀を、服部家と株式会社チキリとの合同葬とする事といたしました。

12月6日の通夜、同7日の葬儀と、ご多用中にもかかわらず、本当に多くの方々にご会葬を頂き、「焼香を賜り、「霊前にはご重なるお供物など頂き厚く御礼申し上げます。

この「契通信」も6年間継続することが出来ました。この記念の72号を亡き父への追悼記念号として、その一生を株式会社チキリに捧げた父について書かせて頂きます。

最期になりましたが、今年1年間、皆様には公私共に大変お世話になり感謝申し上げます。来年も引き続きどうぞ宜しくお願い申し上げます。

代表取締役 服部厳一郎

なんだ・かんだ

◆ 故 代表取締役会長 服部純茲 ◆

父の人生は、まさに仕事と共に生きてきた人生でした。とにかくまじめで、仕事が好きで人でした。休みの日には、いつも本を読み、それがビジネス書であれば、読んだ内容を現状の会社と照らし合わせて、今後の会社の方向性ややるべきことをまとめ「社発」として関係者に配布していました。ビジネス書以外でも、自分の気になる事、病気だったり、子供の教育のことだったり、その時関心のある書籍を読み、それを文書にまとめて関係者に配布し、自分でファイルする。年間100冊くらいは読んでいたでしょうか。書き残したメモや「社発」の枚数は数えきれないくらいあります。生前にも大分整理しましたが、今でも数十冊のファイルが残っています。

晩年は、手の震えから字が書けなくなりましたので、70歳を過ぎたころからワープロで「社発」を発行していました。当時私は、この「社発」が煩わしくて、「本に書いてある大会社のあるべき理想と、中小企業のそれも実際の現場とは違うんだ。」と反発していた時期もありました。今から考えるとまったく正しい事をしたと思います。とにかく「読む」「書く」という事が異常に好きな人でした。

父は、現在の国立電気通信大学で通信の勉強をした後、戦後短い期間ですが、復員業務として、船船返還という役に従事し、通信士としてアメリカへ何度か渡航するなどした後間もなく当社に入社。その後昭和37年1962年に株式会社に改組と同時に取締役となり、40年以上の間代表取締役として文字通り「粉骨砕身」会社に尽くしてまいりました。創業は祖父ですが、「中興の祖」として、現在の当社の礎を築いたのは紛れもなく父でした。

現在の当社の主力商品であり、「チキリ船具店」の頃から取り扱っていた、塗料・ワイヤロープのメーカーの代理店権を取得。そして、東名高速道路の工事に伴い東京製綱さんの代理店としてガードケーブルを御殿場一掛川間に納入。また、落石防止のネットを静岡県土木事務所へ営業に回り、数年かけて採用されるようになり、土木工事と言う新しい道を開拓しました。その後卸団地へと会社を移し、兄弟4人「毛利家の3本の矢」宜しく、姉が経理、次男が営業、三男が総務そして長男の父が経営の舵を取り、戦後の高度成長期の流れの中で株式会社チキリを「家業」から「企業」に変えて行きました。

会社成長の過程の中で、ドルショック、オイルショックと何度かの会社存続の危機を乗り越えてまいりました。「今までと同じことをやっていると企業は衰退する。新しい事に挑戦していかなければ駄目だ。」が口癖の父は、その後も「建設業」「製造設備の設計製作」「長期重防食の表面処理」と業容を拡大。また「ハーネスの組立工場」「アルミの特殊表面処理」等の事業にも手を出し失敗も数多くする中で87年もの長きに渡り会社を存続させてきました。

車椅子になって会社に出社出来なくなっても、毎日終業時間の5時になると会社に電話をかけてきて「今日は変わったことはなかったか」と全管理職に電話を回して、会社の近況を確認し、自分の考えをまとめて私や前社長に指示を出していました。本当に一生をチキリに捧げてきた人生でした。

晩年、脊髄小脳変性症という神経の病を発症し、呂律が回らない、手が震える、歩行が困難で車椅子の生活となり、昨年11月に誤嚥性肺炎で3回目の入院をし、肺炎が治った後お正月に1日だけ家に帰って来ましたが、そのまま、介護の病院へ移り、約1年間の入院生活の末、先日12月2日午後9時15分に永眠いたしました。1年間の入院の間、母は毎日病院へ通い、家内や姉達も本当によく看病していました。そういう意味では、父は幸せだったと思います。

父は亡くなりましたが、その精神は当社の中に脈々と生きています。これからも、「挑戦」を繰り返し、お客様そして、仕入先の方に支えられ、共に100年・200年と続く企業となっていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



■ 年末年始の休暇 ■

本年は12月28日(水)まで営業致します。

年末年始休暇：12月29日(木)から1月4日(水)まで
7日間とさせていただきます。新年は1月5日(木)より営業致します。又、1月14日は、第2土曜日ですが、通常通り営業いたします。
メーカーによって、年末年始の受注及び製品出荷可能日が異なります。お得意様におかれましては、当社営業と年末年始の注文についてお打ち合わせいただき、生産に支障の無いようお願い致します。ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。N

・ 株式会社チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/